

全児童61人でかべ新聞

全校児童61人で「学校かべ新聞」作りに取り組んだ。4～6年生で構成する四つの委員会が、運動会や学



かべ新聞作りに取り組む児童

Ⅱ南さつま市の川畑小

川畑小学校（南さつま市）

習発表会などの学校行事について記事を作成。1～3年生は上級生のインタビューに答えた。

レイアウトなど新聞作りの中心は運営放送委員会の9人。6年の瀬戸太旺さん、江口結萌香さんは「みんなの感想や意見を聞いて記事にするのが楽しく、貴重な体験になった」と笑顔を見せた。

実践校1年目。月曜朝の10分間を活用し新聞を読み、「若い目」などへ積極的に投稿。野崎弘樹教諭(39)は「社会をもっと知りたいという興味関心を深められた。自分の考えを伝え合うことで対話が生まれ、主体的な学びにもつながった」と語った。

(犬塚政志)

かごしま NIE実践校

鹿児島県内で2024年度にN I E（教育に新聞を）実践校に指定された13校が、新聞を活用した授業などに取り組んだ。各校が進める活動や授業の様子を紹介する。

新聞触れ読む意欲向上

実践校2年目。文章を読むことに苦手意識がある児童が多いと分析し、学年ごとに授業などで新聞活用



オセモコ冬の特集号に目を通す1年生
Ⅱ志布志市の志布志小

志布志小学校（志布志市）

を模索する。図書室前に新聞コーナーを設置。ワークシートを週末の宿題にする学年もある。

13日に行われた1年生の学活。「しんぶんをつかってみよう」をテーマに、本紙「オセモコ」から習った漢字をいくつ探せるか、楽しみながら挑戦した。荒武穂音さんは「新聞はいろんなことが書かれていて面白い」と笑顔を見せる。

NIE担当の1年担任、堀之北彩教諭(28)は「まだ使ってみる段階だが、長い文章を読もうとする姿が徐々に見られる。記事の内容を踏まえて感じたことを表現したり、まとめたりする活動を広げていきたい」。

(福岡梓)